



第2回 地域におけるスポーツの場づくりに関するオンラインセミナー

多様なPPP/PFIの活用と スポーツによる「まちづくり」の推進について

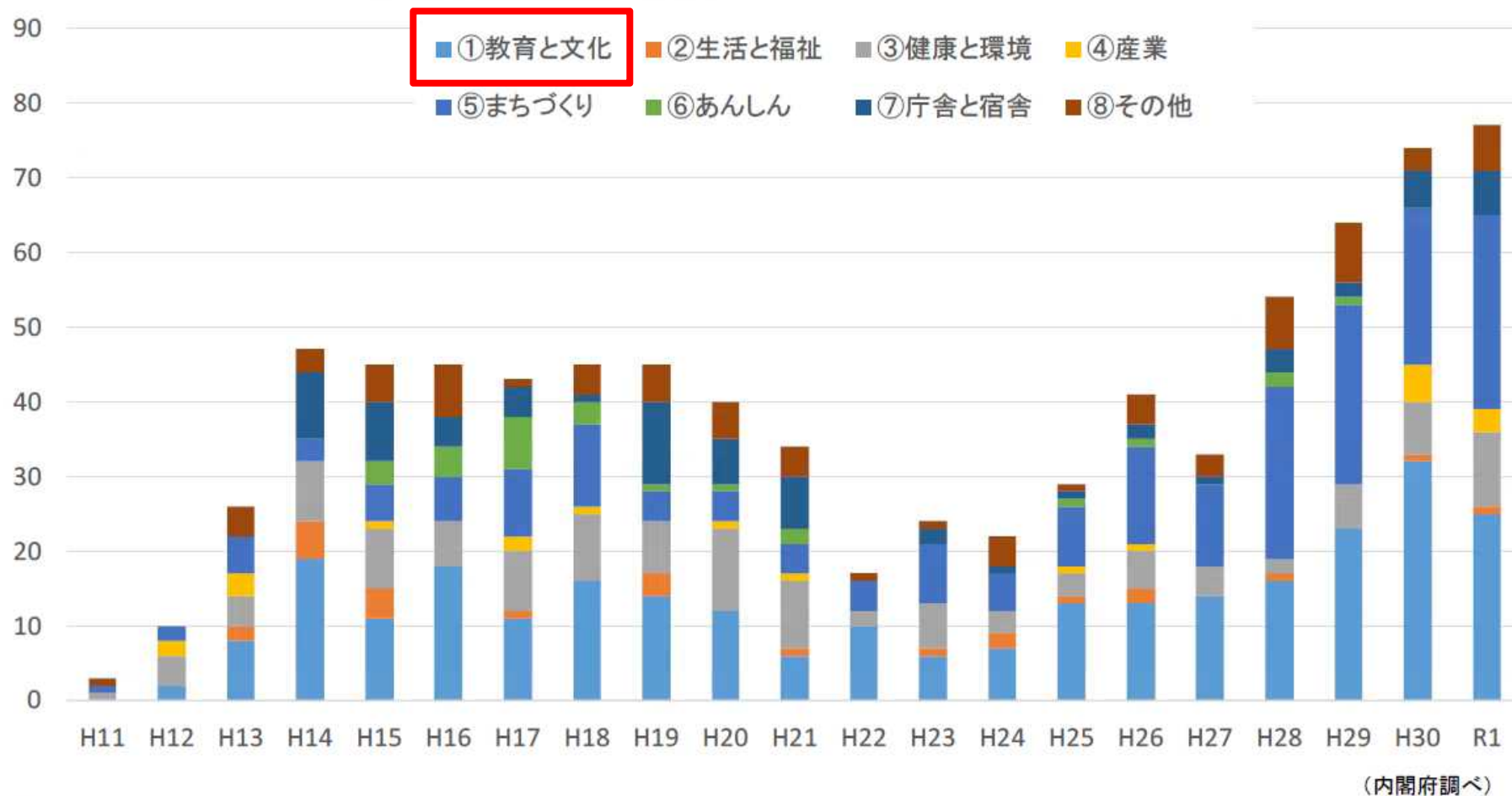
令和3年12月15日
スポーツ庁



1

多様なPPP/PFIの活用

PFI事業の実施状況／分野別事業数（令和元年度末時点）



- 近年のPFI事業件数の増加傾向は、「教育と文化(学校施設、スポーツ施設等)」や「まちづくり(公営住宅、空港、公園等)」の増加が主な要因。

PFI事業の実施状況／事業主体別事業数（令和元年度末時点）



- 近年のPFI事業件数の増加傾向は、市区町村における活用の増加が主な要因。
- 市区町村においては、人口規模に関わらず「教育と文化」分野での活用が最多。

スポーツ施設に活用されている主なPPP手法

- スポーツ施設においては、官民の役割分担のもと、PFIを含め**多様なPPP手法が活用**されている。

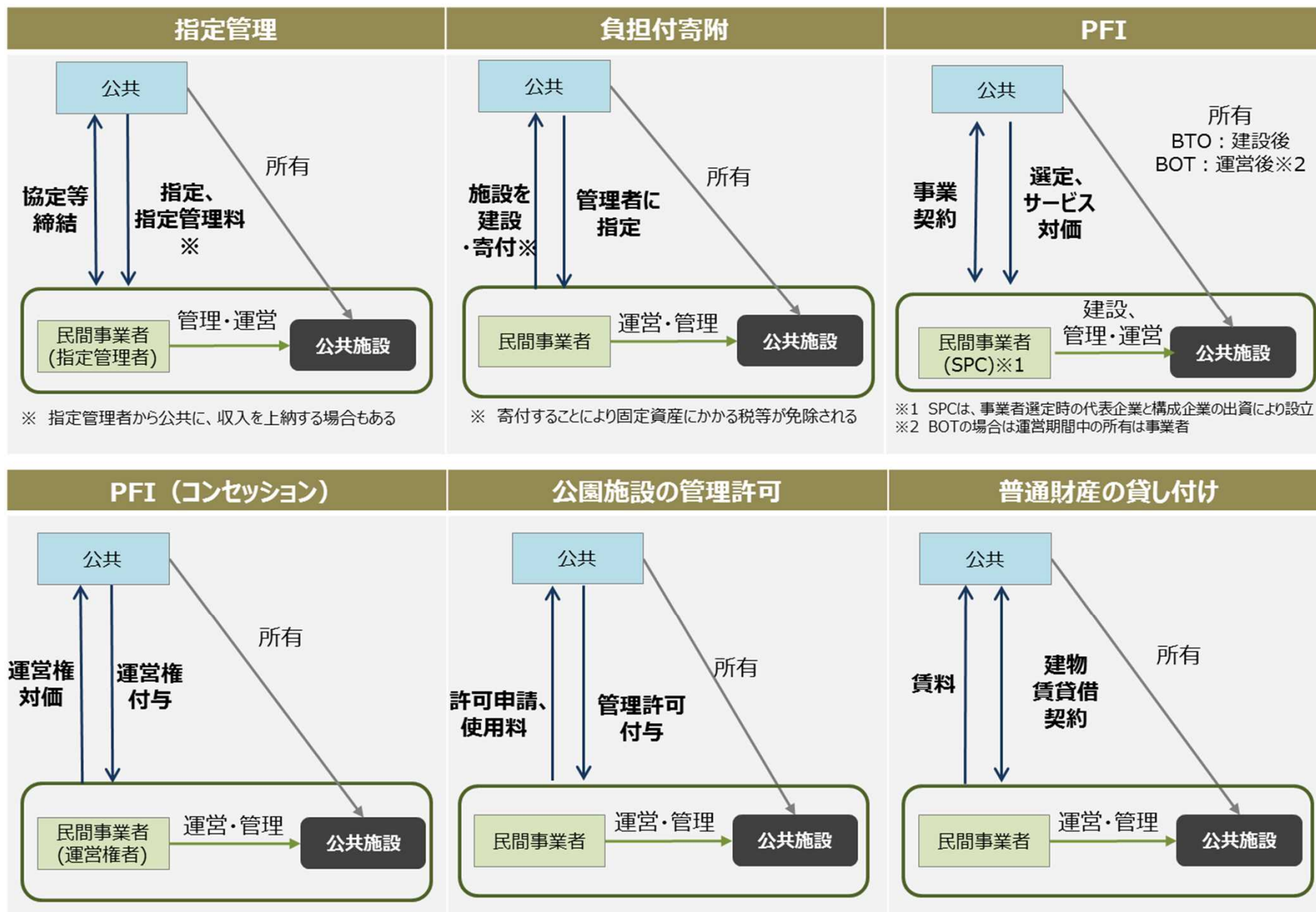
	指定管理	PFI BTO、BOT、BOO等※2	PFI コンセッション	公園施設の 管理許可	普通財産の 貸し付け
主 な 関係法令	地方自治法	P F I 法	P F I 法	都市公園法	地方自治法 民法、借地借家法
概 要	公の施設※1の目的を効果的に達成するため、民間事業者等を指定管理者とし、公の施設の管理を行わせることができる制度	公共施設等の設計、建設、維持管理、運営を、一括して民間事業者にゆだねる制度	利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する制度	都市公園の施設について、公園管理者以外が公園管理者の許可を受けて管理することができる制度（公園管理者の許可を受けて施設の設置から行うことも可能）	行政財産のうち普通財産※3について、民間事業者等へ貸し付けることができる制度（民間事業者が地方公共団体と定期建物賃貸借契約を締結し管理運営することが可能）
期 間	法令上、特に制限なし	法令上、特に制限なし	法令上、特に制限なし	1回の許可の期間の上限は10年間	法令上、特に制限なし
事 例 (運営期間)	広島市民球場 (10年間、非公募) 市立吹田サッカー スタジアム (48年間、負担付寄付)	北九州スタジアム (15年間)	有明アリーナ 愛知県新体育館 津山市グラスハウス	宮城球場 (10年間+延長5年間) 横浜スタジアム (40年間)	舞洲アリーナ (10年間)

※1 地方公共団体が設置する施設のうち、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するために設けられる施設。

※2 P F I には、BTO方式、BOT方式、BOO方式等のいくつかの事業方式があり、BTO方式では地方公共団体が、BOT方式及びBOO方式では民間事業者が施設の所有者となる。B T O方式の場合は、指定管理等を併用し、S P Cに運営を行わせる。

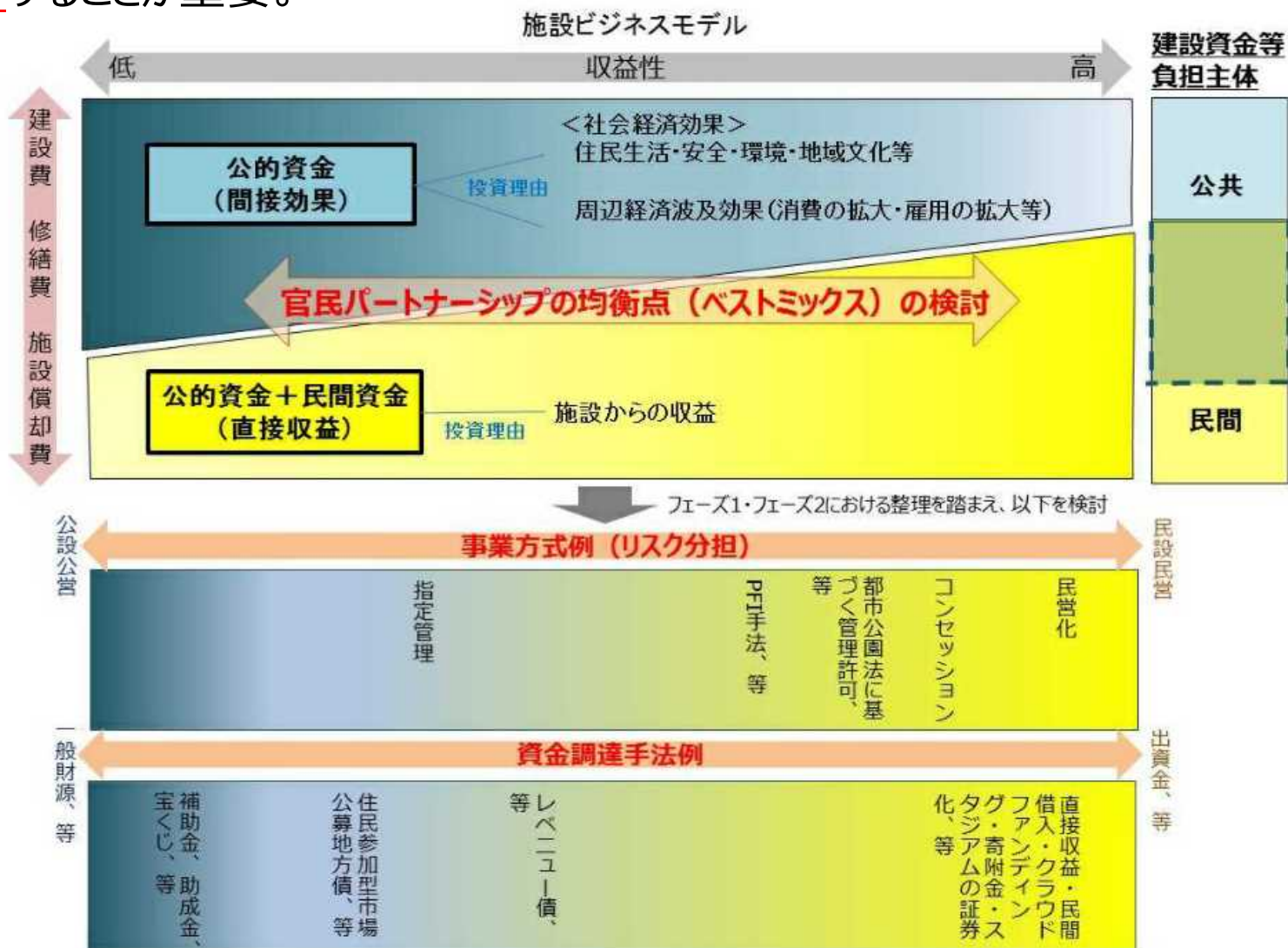
※3 公有財産のうち特定の用途又は目的を持たないもの。

スポーツ施設に活用されている主なPPP手法のイメージ



PPPの基本的な考え方

- 官民の対話等を通して、施設の特性等に応じた官民パートナーシップのベストミックスを検討することが重要。



地元企業中心のPFI事業によるスポーツ施設の整備運営

柳島スポーツ公園整備事業（1/2）



概要

- 国が行う新湘南国道の延伸や相模川の築堤事業の推進に協力するため、相模川河畔スポーツ公園を柳島字向河原地内に移転し、都市計画公園（運動公園）として整備した。
- 本事業は、茅ヶ崎市では初めてとなるPFI事業として実施し、2018年3月25日に開園。
- 地域の企業が行う意義「ローカルファースト」の価値観を明確に打ち出して、地元を中心とした構成・協力企業が力を合わせて整備事業に取り組んだ。

施設名	柳島スポーツ公園		
整備期間	2016年2月～ 2018年3月	運営期間	2018年3月～ 2038年3月
施設規模 (基本計画)	公園面積：64,696.85㎡ ※茅ヶ崎市柳島字向河原地内		
設計・建設費	約74.9億円		
施設構成	● 総合競技場 ● テニスコート ● クラブハウス、広場		

※出所：茅ヶ崎市ホームページ、柳島スポーツ公園ホームページ、日本商工会議所ホームページ、相模原市PPP/PFI地域プラットフォームセミナー資料

地元企業中心のPFI事業によるスポーツ施設の整備運営

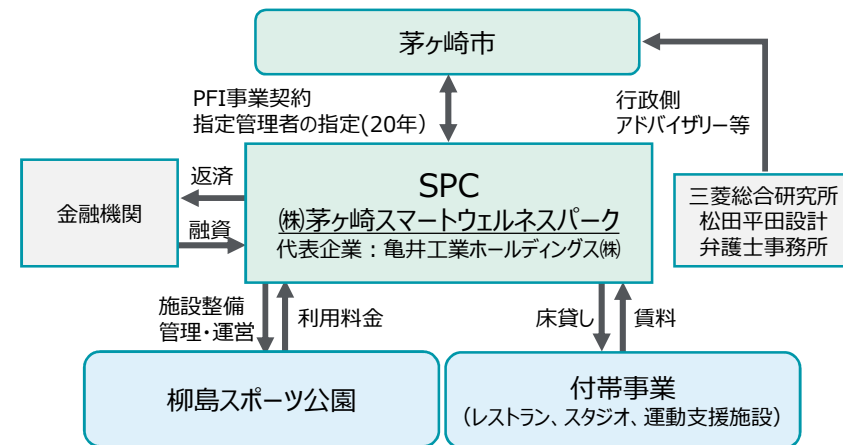
柳島スポーツ公園整備事業（2/2）

PFI事業概要

- | | |
|------------|---|
| 1. 整備・運営手法 | PFI-BTO方式 混合型 |
| 2. 事業主体 | 茅ヶ崎市 |
| 3. 事業期間 | 設計・建設期間：約3年3ヵ月
管理・運営期間：約20年間 |
| 4. 業務内容 | 総合管理、設計、工事管理、建設
運営、維持管理、資金調達 |
| 5. SPC構成企業 | 《代表企業》
亀井工業ホールディングス(株)
《構成企業》
湘南造園(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)
NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ
亀井工業(株) |

- 地元企業が中心となり、これまで取り組んできた多様な事業の組み合わせによって、豊かな長寿社会の実現を目指した
- 茅ヶ崎市では初めてとなるPFI事業として特別目的会社「茅ヶ崎スマートウェルネスパーク(株)」を設立後、茅ヶ崎市と契約を締結
- 事業者が本施設の設計・建設を行った後、市に所有権を移転。指定管理者として、本公園の維持管理・運営（20年間）を行う

施設整備・運営のスキーム



運営実績 第6期(2019年4月1日～2020年3月31日)

- 住民のニーズを把握する地域企業が集客プランまで企画、運営することで、想定稼働率を大幅に上回る状況で推移している
- | |
|---|
| ■ 公共運動公園施設 <ul style="list-style-type: none"> ・競技場 稼働率74.0%（計画時40%） ・テニスコート 稼働率71.2%（計画時67%） |
| ■ 付帯事業 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 41,000人、年間売上高 5,800万円 |

※出所：茅ヶ崎市ホームページ、柳島スポーツ公園ホームページ、日本商工会議所ホームページ、内閣府PPP/PFI事例集、相模原市PPP/PFI地域プラットフォームセミナー資料

RO方式とコンセッション方式を組み合わせた事業方式による 市営プール施設の再整備・運営

津山市ガラスハウス利活用事業（1/2）



概要

- 1998年に県営プールとして開業。2011年以降は、県から市が譲り受け営業を継続。
- 2019年に、ガラスハウスが所在するグリーンヒルズ津山で、民間活力導入を検討するためのトライアル・サウンディングを実施。
- 施設の管理運営費、老朽化による多額の改修費用が見込まれることから、2021年3月末に営業を終了。民間事業者のビジネスモデル導入による再整備・運営を目的として、利活用事業実施方針を公表。
- 2021年7月に㈱Globeを「ガラスハウス利活用事業の優先交渉者」に選定。既存のプールの9割を埋めて、アリーナ・トラックを含む運動スペースへ改修する提案となっている。

※出所：津山市ホームページ

施設名	ガラスハウス		
事業開始	2021年度予定	運営期間	運営開始 ～10年間
担当部署	津山市 財産活用課 FM推進係		
施設規模 (改修前)	敷地面積：約12,000㎡ 延床面積：約5,300㎡		
設計・改修費	2.65億円※サービス購入料の上限額		
施設構成 (条件)	● ガラスドームの外観意匠は維持 ● 屋外付帯施設、内装、設備等は改変可能 ● プールの存続は前提ではない（継続利用可）		

RO方式とコンセッション方式を組み合わせた事業方式による 市営プール施設の再整備・運営



津山市ガラスハウス利活用事業（2/2）

事業方式と期間

■ 事業の方式

- PFI法に基づくRO方式とコンセッション方式を組み合わせた事業方式
- 施設の整備完了後、市が事業者に対して施設の運営権を付与することで自由度の高い運営を目指す

■ 事業の期間

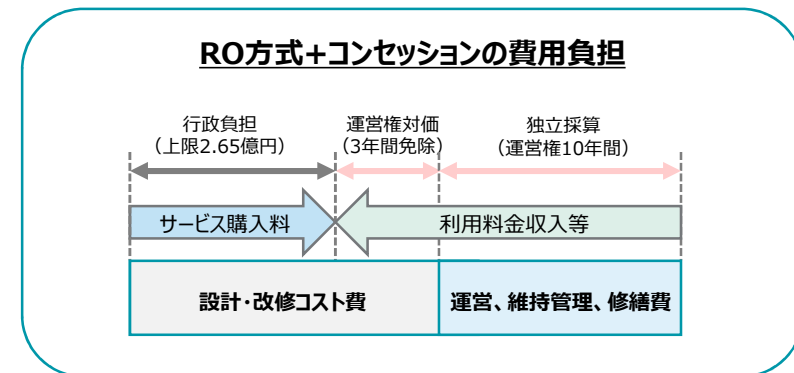
- コンセッションによる運営権の設定期間は10年間
- 事業期間終了の3年前までに期間延長の届け出を行った場合、市と協議を行った上で、次の10年を越えない範囲で、運営権者が希望する日まで事業期間を延長できる

提案の前提条件

- ガラスハウスのガラスドームとしての外観意匠は維持
- 外構、屋外プールなどの屋外付帯施設、内装、設備等は改変可
- プールの存続は前提としない。プールを継続して利用する提案も可
- 敷地内で湧き出ている温泉の利用は不可
- 施設内に残置してある備品類（家具・スポーツ器具）の利用も可
- 施設の整備期間は、実施契約後2年以内
- 運営権開始後は速やかな開業を目指すこと
- 事業完了時、整備前への原状回復は不要

※出所：津山市ホームページ

サービス購入料と運営権対価



■ 市が負担するサービス購入料の範囲

- 上限額となる2.65億円を、10年に分けて平準化した上で、サービス購入料として市が負担。金額は事業者からの提案により決定
- 対象範囲は、施設に固定されないものを除き、施設の整備費を対象
- 運営が開始された後は、全て独立採算での運営とし、施設の修繕や保全費も全て事業者の負担

■ 市に納める運営権対価

- 運営権対価は、原則年払い
- 最低額は年額0円以上とし、金額は事業者からの提案により決定
※運営開始から3年目の年度末までは免除

企業版ふるさと納税を活用した地方創生の拠点となるアリーナの整備



太田市運動公園市民体育館整備事業（1/2）



概要

- 現太田市運動公園市民体育館は、1981年5月に開業。竣工以来39年が経過しており、老朽化に伴う雨漏りや設備配管等の不具合など施設運用上支障がある状況。
- 市民体育館の建替えを実施し、Bリーグチームのホームアリーナとするとともに、地方創生に繋がる交流人口拡大の拠点、市民にとって愛着のある地域のシンボルになる施設を目指している。
- 事業費の調達には、企業版ふるさと納税、地方創生拠点整備交付金を活用している。
- オープンハウスの社長（太田市出身）と市長の考えが一致したことが、本事業の実現に繋がっている。

施設名	太田市運動公園市民体育館（仮称）OTA ARENA		
整備期間	2021年6月～ 2023年4月	運営期間	2023年5月～
施設規模	建築面積：7,327.23㎡ 延床面積：11,160.09㎡		
設計・建設費	約78.5億円（うち、企業版ふるさと納税40億円、地方創生拠点整備交付金10億円を活用予定）		
施設構成	● メインアリーナ（収容人数：5,027人） ● サブアリーナ（観客席：なし） ● VIPルーム、ドーピングコントロール室他各諸室		

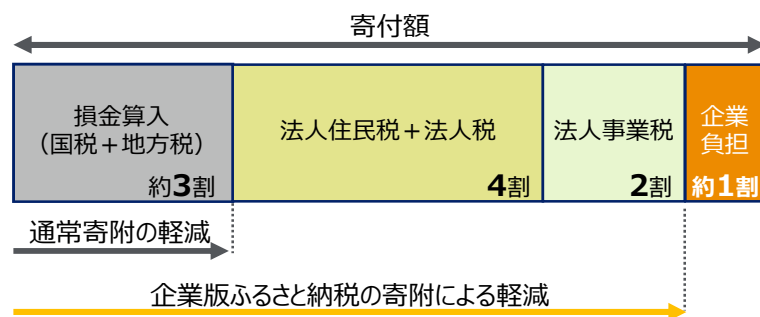
※出所：太田市ホームページ、オープンハウスホームページ

企業版ふるさと納税を活用した地方創生の拠点となるアリーナの整備



太田市運動公園市民体育館整備事業（2/2）

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）



■ 制度概要

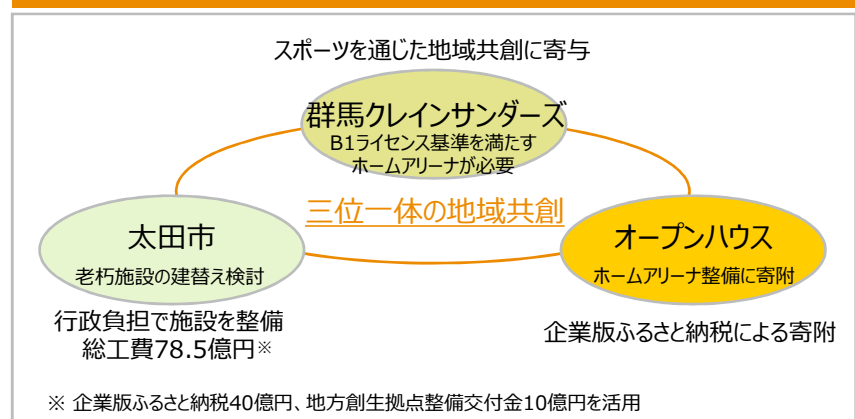
- 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）は、企業が寄附を通じて地方創生を支援する仕組み
- 地方自治体は「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を地域再生計画として内閣府に申請。内閣府の認定を受けた事業に対して、企業が寄附を行った場合に税制上の優遇措置が受けられる
- 2020年度税制改正により、最大で寄附額の9割が軽減されるなど、より使いやすい仕組みとなっている

■ 制度活用にあたっての留意事項

- 1回あたり10万円以上の寄附が対象
- 寄附の代償として経済的な利益を受けることは禁止
- 本社が所在する自治体への寄附は本制度の対象外

※出所：太田市ホームページ、オープンハウスホームページ

導入メリット



■ 市のメリット

- 設計・建設費を全額負担することなく、一部の予算措置のみで公共施設を整備することができる

■ 事業者・チームのメリット

- 少ない費用負担で地方創生を支援することができる
- 本社が所在する自治体でなければ、自社チームの本拠地としても利用されるアリーナの整備にも活用することができる
- B1ライセンスを満たした高スペックのホームアリーナを整備可能

2

スポーツによる「まちづくり」の推進について

スポーツによる「まちづくり」(スポーツ × まちづくり)

地域内住民向け
(インナー施策)



健康スポーツ教室による
地域住民の健康増進



障害者スポーツの体験を通じ
地域コミュニティとの共生

地域外交流人口向け
(アウター施策)



日本の文化資源を活かした
スポーツツーリズムの推進



地域密着型プロスポーツチームと
地域の連携



スポーツのチカラを「活用」

様々な地域課題

(地域の少子高齢化、地域住民の健康増進、地域の過疎化、地域経済の衰退など)

解決

スポーツによる 地方創生・まちづくり

スポーツ × まちづくり

地域外交流人口向け：アウター事業

地域内住民向け：インナー事業

1. スポーツを活用した
経済・社会の活性化

2. スポーツを通じた
健康増進・心身形成
・病気予防

定着・継続のための体制

- 自治体等のマインドチェンジ・キャパシティビルディング
- 組織・体制の再構築及び連携の強化

スポーツ関連ハード整備

3. 自然と体を動かしてしまう
「楽しいまち」への転換

「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰制度

東京 2020 大会等の後も、そのレガシーとして、全国を先導するような優良な「スポーツ・健康まちづくり」に国の事業（※）も活用して今後取り組もうとしている自治体のアイデアを表彰するとともに、積極的に広く全国へアピールし、スポーツを活用した特色あるまちづくりの全国展開を推進。

※採択済みの予算事業、認定済みの地域再生計画に基づく特別措置

表彰審査を通った自治体は、

- (1) 室伏スポーツ庁長官から表彰式において直接に表彰授与
- (2) スポーツ庁が様々な媒体で積極的に広く全国にアピール

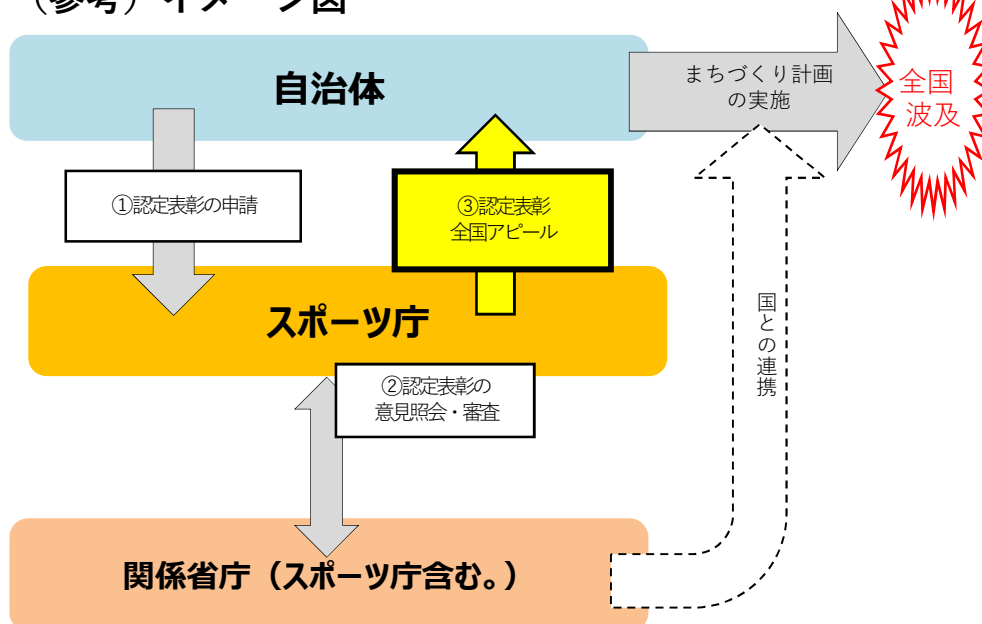


※ 仕組みやスケジュールの詳細は、スポーツ庁のHPを御覧ください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00002.htm)



(参考) イメージ図



★審査書類の特例（簡素化）

表彰審査のため「スポーツ・健康まちづくり計画」を提出頂きますが、「地方創生推進交付金」、「企業版ふるさと納税」などを受けるために地域再生法に基づく認定を既に受けた地域再生計画を提出いただければ、表彰審査資料である計画の提出は省略することができます。

スポまち！長官表彰2021における受賞団体

自治体		取組名称
北海道	北見市	Curling City Kitami魅力向上プロジェクト
北海道	東神楽町	東神楽町健康食育タウン事業（東神楽流からだの『見える化』計測中。）
北海道	増毛町	増毛町スポーツ・健康まちづくりプロジェクト （生涯現役で働き続けられる町を目指す健康寿命延伸事業）
北海道	壮瞥町	スポーツでチャレンジ！スポーツによる持続可能なまちづくり
宮城県	角田市	Kスポ（総合スポーツ施設）と道の駅かくだを核としたスポーツによるまちづくり
秋田県	大館市	観光とスポーツによる賑わいと交流を生むまちづくり
山形県	庄内町	スポーツ合宿等による地域活性化、健康と生きがいをつくる生涯スポーツの推進
茨城県	笠間市	笠間市スケートボードの聖地プロジェクト
茨城県	つくば市	廃校への自転車拠点・ジオパーク中核拠点整備による地域振興プロジェクト
茨城県	境町	世界レベルのスポーツ施設等を活用した茨城県境町のまちづくり
栃木県	矢板市	未来技術を活用した健康＆スポーツの飛躍的レベルupプロジェクト
千葉県	銚子市	銚子市しごと・ひと・まち創生推進計画＜スポーツツーリズムの促進＞
新潟県	村上市	スケートボードの聖地「むらかみ」セカンドプロジェクト
富山県	富山市	SDGsの実現に向けた歩くライフスタイルの推進「とほ活」プロジェクト
富山県	滑川市	「雪国ハンデを乗り越えろ」滑川市屋内運動場（KENKO DOME）活用推進プロジェクト

スポまち！長官表彰2021における受賞団体

自治体		取組名称
石川県	かほく市	「あそびの森かほくる」でみんな元気！～かほく市こども屋内運動施設の整備～
長野県	野沢温泉村	マウンテンスポーツを通じた村民社会形成プロジェクト
静岡県	沼津市	フェンシングで地域に活力を！～「フェンシングのまち沼津」ブランディング事業～
静岡県	御殿場市	東京2020大会ロードレース会場のレガシーを活用したまちづくり
静岡県	裾野市	富士の麓で頂点を目指す！スポーツ応援プロジェクト～準高地トレーニングができるまち～
静岡県	御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクト～ワンストップでスポーツ合宿をトータルサポート～
愛知県	西尾市	スポーツを核とした健康まちづくりプロジェクト（市民の健康づくりをお手伝い）
兵庫県	西宮市	地域スポーツ資源を生かしたビジネスの振興～スポーツを核とした甲子園エリア活性化計画～
鳥取県	湯梨浜町	グラウンド・ゴルフとウォーキングによる友情と健康の輪の拡大プロジェクト
広島県	北広島町	全町民参加型「きたひろスポーツ」推進プロジェクト
徳島県	美馬市	「美と健康」のまちづくりプロジェクト（美馬市版SIB）
佐賀県	小城市	アイル資源磨きプロジェクト
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設活用地域活性化プロジェクト
沖縄県	沖縄県	空手が沖縄経済を成長させる新エンジンに（沖縄空手振興ビジョンロードマップ）
沖縄県	沖縄市	沖縄市スポーツコンベンションシティ3.0加速化プロジェクト

スポまち表彰2021式典の様子

室伏長官挨拶



トークセッション



表彰状授与



スポまち！ピックアップ



➤ 今回の受賞団体の中から、室伏長官が訪問させていただく自治体を抽選！北海道北見市に決定しました！

スポまち表彰2021式典の様子

集合写真



◆ スタジアム・アリーナ改革ガイドブック（第2版）

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/detail/1411943.htm

◆ スタジアム・アリーナ改革の実現に活用可能な施策一覧

https://www.mext.go.jp/sports/content/20210423-spt_sposeisy-000005410_1.pdf

◆ 文教施設における多様なPPP／PFI事業等の事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ppp/1406650_00001.htm

◆ 文教施設におけるコンセッション事業に関する導入の手引き

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ppp/1406650.htm

◆ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略「スポーツ・健康まちづくり」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00001.htm

◆ 室伏スポーツ庁長官表彰「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00003.html

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports, Enjoy Life



御清聴ありがとうございました。